

一貫教育

新篠津の子どもたちの煌めく15の春を目指して

～ 新篠津小中学校 一貫教育推進員より ～

子どもたちが進学する時は、ハード（校舎や通学方法）もソフト（先生や学習方法・内容）も大きく変わります。このため小・中学校で入学後につまずく子どもたちの存在が一時、話題となりました。子どもたちがスムーズに新しい環境になじめるよう本村では一貫教育を進めています。

一貫教育全体会が行われました！

11月20日（水）、小中学校の先生たちが集まり、一貫教育の研修会が行われました。全体会では、今年度、新たな取り組みとして、小中学校の先生が相互に学校の課題や成果、取り組んでいることなどを交流しました。

また、各部会での今年度の取組と進捗状況について報告されました。

その後の部会では、今年度のまとめや成果についての話し合いが行われました。



定期テストを体験！

11月13日（水）、中学校での生活を体験する一環として、小学校6年生が朝から中学校に登校し、定期テストを体験しました。事前にテスト範囲を告げられ、それに向けた勉強をし、中学校の先生たちが作成したテストに挑戦しました。小学校で行っているテストとはまた一味違った問題に、真剣に取り組む姿が見られました。

今年も乗り入れ授業を実施！

中学校の先生が小学校で児童に授業を行う「乗り入れ授業」を今年も行っています。7月に中学校の先生による体育の「体づくり運動」に始まり、美術の先生が図工で「私の大切な風景」の授業、先生の英語の「Dream World Tour」、そして現在、先生による社会「明治の新しい国づくり」の授業を行っていただいています。



中学校の先生の授業を受けることで、中学生になる心構えをもつと共に、先生たちを知ること、安心したり、授業の仕方を理解したりすることができます。中学校に入学する際、少しでも小学校とのギャップを取り除くための一つの取組として行っています。

ちょっぴり緊張しながらも集中して、一生懸命授業を受ける児童の姿が見られました。

すくすく・たかくら保育園と新篠津小1年生が交流

11月19日(火)、新篠津小学校にすくすく・たかくら保育園の園児7名が訪れ、1年生と交流を行いました。保育園・小学校共に風邪などが流行っており、欠席した子どもたちが多いのが残念でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。

小学校1年生の生活科「きせつと なかよし あ

き」の単元で、1年生児童が

秋の枯れ葉や木の実で作ったおもちゃでお店屋さんを開き、園児たちと楽しむ学習を交流しました。

できたお店屋さんは、「さかなつりやさん」「けんだま こまショップ」「さかなつりやさん」「めいろやさん」「マラカスやさん」の5グループでした。

はじめの挨拶をした後、交流をしました。日頃は、一番年下で、お世話をされている1年生が園児たちに優しくルールを説明したり、連れて歩いたりしている姿がほほえましかったです。

園児たちは、ちょっと緊張気味でしたが、各ブースの遊びを楽しんでいました。折り紙で作った景品も一生懸命選んで、大事そうに手提げ袋にしまう姿も見られました。

休み時間には、1年生が園児を連れて学校を案内しました。廊下では、卒園した上の学年の児童と交流する場面も見られました。引率してきた先生、先生と懐かしそうに話をする上級生たちもたくさんいました。

楽しかった1時間半は、あっという間に過ぎ、終わりの会で感想を発表し合って、お別れしました。1年生も園児たちも楽しいひと時を過ごせたようでした。

これを機会に保育園と小学校の交流が進み、卒園した園児たちが少しでもスムーズに小学校生活になじめるようになっていたらいいなあと思います。

(担当：小学校)

